

## 令和4年度 学校評価アンケート（保護者）の結果及び考察について

### 1 結果報告

- (1) アンケートの実施期間 令和4年6月20日～令和4年9月9日
- (2) アンケートの対象期間 令和4年4月6日（1学年は4月7日）～令和4年6月30日
- (3) 調査人数 1学年保護者：100名 2学年保護者：96名 3学年保護者：97名
- (4) 回収率 1学年：3年度：78% ⇒ 4年度：98%  
2学年：3年度：66% ⇒ 4年度：90%  
3学年：3年度：78% ⇒ 4年度：71%  
※全体：3年度：217/293（74%）⇒4年度：253/293（86%）
- (5) 回答方法 ・全学年：4段階選択方式と1、10、30～33は記述欄あり。
- (6) 集計結果 別紙参照

### 2 令和4年度学校経営計画における目標数値との比較、分析及び考察

#### (1) 比較

- 学校評価アンケート（保護者）の回収率  $\geq 90\%$  結果 86%
- 学校は感染症予防対策に積極的に取り組んでいると思う。 $\geq 95\%$  結果 97%
- ライフスキルの授業は自分の生活に大切だと思う。 $\geq 95\%$  結果 98%
- Teams やテレビオンライン会議システムを使用した授業は分かりやすかった。 $\geq 80\%$  結果 70%
- 希望の進路を実現するための努力をしていますか。 $\geq 80\%$  結果 89%
- いじめが起こらないように先生達はしてくれている。 $\geq 90\%$  結果 90%
- 南大沢スタンダードを通して新しい生活様式にそった生活が送れている。 $\geq 90\%$  結果 95%
- 学校生活を通してあなたのQOLが向上していると思う。 $\geq 85\%$  結果 91%
- 生徒にとって、部活動や地域での活動は楽しい。 $\geq 85\%$  結果 82%

#### (2) 分析及び考察

- ①従来の紙での回答に加え、インターネットや Teams からオンラインでも回答できるように工夫したことで、アンケート回収率が大幅に向上した。多くの保護者から肯定的な評価を得、学校経営計画に揚げた目標数値を概ね達成できていると考えられる。今後も保護者が回答しやすい環境を整えることで、回収率のさらなる向上を目指していく。
- ②「Teams やテレビオンライン会議システムを使用した授業は分かりやすかった」の肯定的な評価については、生徒が78%、保護者が70%であった。生徒は授業、行事、家庭学習を通し、活用が進んでいるが、保護者は実際の活用場面を見る機会が少ないことが影響していると思われる。高1では一人1台端末の導入時に、保護者の協力を得て初期設定を行ったことでイメージをもちやすくなり、高い評価につながったと思われる。デジタル機器を活用した授業内容については、これまでも学園通信等で情報発信をしてきているが、家庭で話題にしやすいような内容を工夫するなど、情報発信を強化していく。

### 3 令和3年度のアンケート結果との比較、分析及び考察

#### (1) 比較

- ①「そう思う（大いにそう思う、そう思う）」の回答比率が高くなっている主な項目
- 「ライフスキルの授業は生徒の生活に大切だと思いますか」 R4 98% R3 97%
  - 「生徒は南大沢スタンダードを通して新しい生活様式に沿った生活が送れていますか」 R4 95% R3 91%
  - 「南大沢学園に入学して良かったと思いますか」 R4 96% R3 95%
  - 「先生は南大沢スタンダードを活用した授業を行っていますか」 R4 96% R3 95%
  - 「生徒はトライアルやコースの授業を通して、卒業後の就労に必要な力が身に付くと思いますか」 R4 95% R3 未実施
  - 「生徒は希望の進路を実現するための努力をしていますか。」 R4 89% R3 76%
- ②「そう思う（大いにそう思う、そう思う）」の回答率が低くなっている主な項目
- 「生徒は校外学習や修学旅行を楽しみにしていますか」 R4 85% R3 85%
- 高1 R4 94% R3 99% 高2 R4 79% R3 75% 高3 R4 77% R3 92%

#### (2) 分析及び考察

- ①「南大沢学園に入学して良かったと思いますか」では、96%という高い評価を得た。ライフスキル、南大沢スタンダード、職業に関する教科（トライアル・コース）など、本校の特色ある教育活動についても、高い評価を得た。また、「生徒は希望の進路を実現するための努力をしていますか」では、昨年度よりも13ポイント上昇している。現在、本校が進めている、「職業に関する教科の指導内容・方法の整理と充実の取組」、「企業就労の基盤をつくる組織的な進路指導」等をはじめとする教育内容を今後も一層充実させ、保護者から信頼される学校づくりに努めていく。
- ②「生徒は校外学習や修学旅行を楽しみにしていますか」では、高1に比べ、これまで延期や中止を経験している高2、高3の肯定的な回答率が低くなっている。特に、アンケート実施時の7月は、コロナ第7波による感染者数急増の時期であり、事前学習も始まっていなかったため、期待感をもてなかったのかもしれない。2年生修学旅行（10月金沢）、3年生校外学習（10月お台場）では、事前学習を重ね、生き生きと主体的に活動する姿が見られた。今後も感染症対策を徹底した上で、教育活動を充実させていく。